

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2010.11.15

No. 58



「少年老い易く、学成り難し。一寸の光陰軽んずべからず」

若い皆さんは、時間はいっぱいあるように感じているでしょう。皆さんの人生は病気や事故に遭わない限りこれから60年～70年くらいありますから、随分たくさん時間があのように感ずるのは当然です。

世の中には一生の間に立派な業績や仕事を残せる人もいますが、一般的には可もなく不可もなく一生を過ごすというのが大多数でもあります。勿論一人一人にとっては、その時々色々なことに悩み頑張り精一杯生きてきているはずですが、後から振り返ってみればあっという間の時の流れのかなたにかすんでいきます。その時あらためて、「若いときは多くの時間があると思っていたのに、時を重ねるに従い、人生はあっという間に過ぎてしまうものだ」と感じます。

皆さんがこのような感想を持つまでにはまだ多くの時を重ねなくてはならないでしょうが、こう感じてからでは過ぎた人生を取り返すことはできません。皆さんにとってまだ時間はいっぱいあるかもしれませんが、今という時を大切に、少しでも自分の人生を充実させるように日々生きて行って欲しいものです。そのためには、なんとなく時間を過ごすのではなく、先を読み今自分がなすべきことを考えながら、生活するよう心がけることでしょう。そして自分の人生を振り返ったときに少しでも充実感を感じられるような日々を送って欲しいものです。

広く物事を見つめられる力

世の中にはある分野に関して極めて深い知識と技術を身につけている人がいます。こうした人を一般に「スペシャリスト」と呼びます。それに対して個々の知識は深くなくとも、全体を見回し総合的に判断できる人もいます。特に組織のリーダー等にこうした資質が求められます。こうした人を「ジェネラリスト」と呼びます。

私達の日常生活においても、小さなことに囚われ全体を見渡すことが出来ないことが少なくありません。自分では正しいと思っていても、別の見方をすると自分の判断の誤りに気がつくことは少なくありません。例えば、自分の立場だけで物事を判断するのではなく相手の立場で考えてみると違った見方や判断が出来るものです。色々なことを考慮して広く物事を見つめない判断を誤りがちです。そのためにも皆さんは学校で色々なことを学び、色々な観点で物事を眺めるための訓練をしているのです。

皆さんが社会に出たとき、こうした過ちを犯さないためには、自分の思い込みだけで判断するのではなく、色々な人の意見を聞き判断するということが大切なことです。また日頃から広く物事を見つめより客観的に判断するような心がけが必要でしょう。特に年を重ね、組織(家庭も含め)の中で全体をまとめるような立場になっていったとき、ジェネラリスト的判断力が求められてきます。これから皆さんも少しでも物事を広く見渡せるような訓練を心がけて欲しいものです。

